

PROGRESS

～前進～

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから⇒



「基本的生活習慣」を
身につけよう（再）
＜6月・7月＞

今回は、先日行われた3年生の修学旅行に帯同して、感じたことを紹介していきます。「これが、今後の東中にとって絶対に必要なこと」と思います。

みんなで作る【よい空気感】 ～3年生の修学旅行で感じたこと～

先月の2年生に続いて、6/12～14の二泊三日で、3年生の修学旅行に帯同させていただきました。今回も先生（桐山）は、一度も（変な意味での）緊張感を感じることなく、楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

詳しい振り返りは、3年生の学年通信にお任せするとして、今回も先生（桐山）が感じたことを一つだけ紹介します。

それは、『「よい空気感」がたまたま時間だったな』ということです。言葉ではうまく言い表しにくいですが、2年生とはまた違った「よさ」があったように感じます。天候が非常に悪い中でも、スケジュールが遅れる中でも、表立ってマイナスな言葉を出すことなく、『今、置かれている状況を目いっぱい受け入れよう』『今、この瞬間を楽しもう』という、前向きな空気感に触れることができました。

この、「よい空気感」というものが、学校で生活していく上ではとても大事なものと考えています。

前号で、『「学校」は「一つの社会（集団）」なので、「個」よりも「全体」が優先される場面は、山ほどありますし、絶対に優先されるべきだ』』というを紹介しました。そういう観点から言えば、3年生の皆さんは見事に「全体」のことを考え、『自分も満足、周りも満足』になるように行動してくれていたように思います。もちろん、特に意識してはいないかもしれませんが・・・でも、「大したもんやなあ」と感じました。

細かいことを言えば、指導されることや、不本意に思ったことがあったかもしれません。でも、それを素直に感じ取り、正しいことを正しいといえる空気感・個人ではどうにもならないことを集団でプラスのエネルギーに変える空気感・・・「限りない可能性」を信じて、【日本一の中学校】にさらに近づこうではないですか！

あと、3年所属の先生以外では、唯一先生（桐山）が昨年に引き続き、宿泊行事に同行しました。昨年の宿泊訓練では、色々な課題も見つかり、改善が期待されていました。

ところが、それらの課題克服どころか、『1年でこんなに集団って変わる？』と心から感じた修学旅行でした。3年生の皆さんと、3年生の先生方とが、今まで積み上げてきたことが、見事に表現されていたと感じました。

昨年の同じタイミングでも同じことを書いたのですが、東中生の【限りない可能性】に気づかせてくれた3日間でした。

9教科を、

「役に立つか立たないか？」 「無駄か無駄でないか？」 「必要か必要でないか？」

という損得論で考えても、答えも結論も出ないし、誰も分からないし、はっきり言って意味がない。

結局、学んだ9教科をどう活用するかは、すべて「あなた」に返ってくるのです。

覚悟を持って、取り組みましょう。

以前、先生（桐山）が学年主任をしていた時に、当時の学年通信に載せたものです。ふと、出てきました。来週、1学期テストが控えています。「覚悟を持って、取り組みましょう」

『今日もテスト前に伴い、終礼後一斉下校となります（一部のクラブは、短時間での活動を行います）。下校時の安全指導や、放課後の時間の使い方について、学校でも注意喚起を行います。が、ご家庭での生活指導・行動把握も、併せてよろしくお願いします。』

テスト一週間前に入り、ホームページに毎日掲載されている文章です。ご協力のおかげで、現在は特に心配となる情報は入ってきておりません。ありがとうございます。

これから7月になり、短縮期間～夏期休業に入ります。学校外で過ごす時間の割合が多くなります。安心・安全に過ごすことができるよう、引き続き学校でも生活指導を行います。が、ご家庭での生活指導・行動把握も、併せてよろしくお願いします。

保護者の皆様へお願い